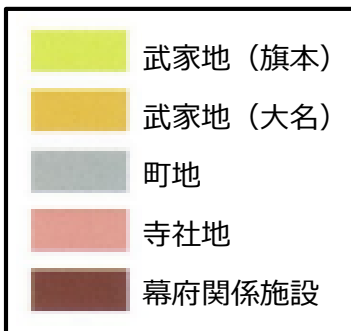


# 大手町・丸の内・有楽町・永田町地域の歴史・概況

## ～江戸 千代田区立日比谷図書文化館常設展示図録

江戸城正門である大手門前や大名小路には、老中・若年寄など幕閣を担う譜代大名らの屋敷や幕府諸機関が所在。丸の内・日比谷・霞が関界隈には有力外様大名の上屋敷が分布し、江戸の中樞を担いました。



江戸復元図をもとに作成  
(出典：千代田区立日比谷図書館文化館常設展示図録/千代田区)

## 明治～戦前

明治維新後、大手町・丸の内・霞が関界隈には政府の諸機関が、丸の内・日比谷界隈には軍用地が置かれました。

明治20年頃、官庁集中計画が立案され、司法省・大審院・海軍省の煉瓦庁舎が完成、明治36年には日比谷練兵場跡地が日比谷公園として開園しました。

一方、丸の内の軍用地は民間に払い下げられ、明治27年に三菱一号館が竣工後、「一丁倫敦 (いっちょうろんどん)」と呼ばれるビジネス街となりました。大正3年には東京駅が開業し、行幸通り一帯に鉄筋コンクリート造のオフィスビルが竣工し、「一丁紐育 (いっちょうにゅーよく)」と称される米国風の街並みが出現しました。

## 戦後

第二次世界大戦では、大手町や永田町一帯を中心に被害を受けました。

高度経済成長期以降になると、業務機能の集積が急速に進展するとともに、中央官庁地区の整備が進みました。

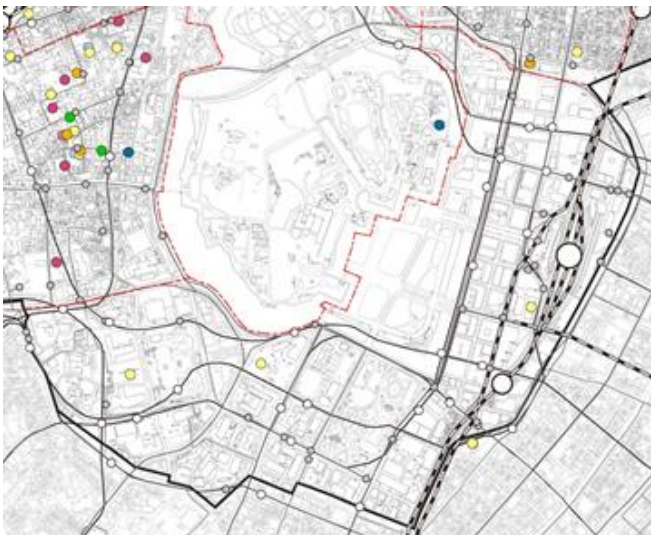
## 現代

大手町・丸の内界隈にはオフィス街、有楽町界隈には繁華街が発展し、永田町・霞が関界隈には国家中枢機能が集中し、歴史と風格ある街並みが形成されています。都市再生特別措置法を契機として、大手町・丸の内・有楽町地域で共有された「まちづくりガイドライン」が尊重された都市再生の様々な活用が進み、大規模なオフィスビルの更新や、より高度で多様な都市機能・空間が充実してきました。

### ▼衛星写真 (平成24年)



### ▼概況図



凡例

- 公共施設 (区役所・出張所)
- 病院
- 小学校
- 中学校
- 保育園・幼稚園
- 児童館
- 高齢者施設
- 障害者施設
- 鉄道駅 (JR)
- 鉄道駅 (地下鉄)
- JR
- 地下鉄
- バス停
- バス路線
- 区境
- 地域境界





# まちの魅力をかたち作る要素

▼東京駅(丸の内側)



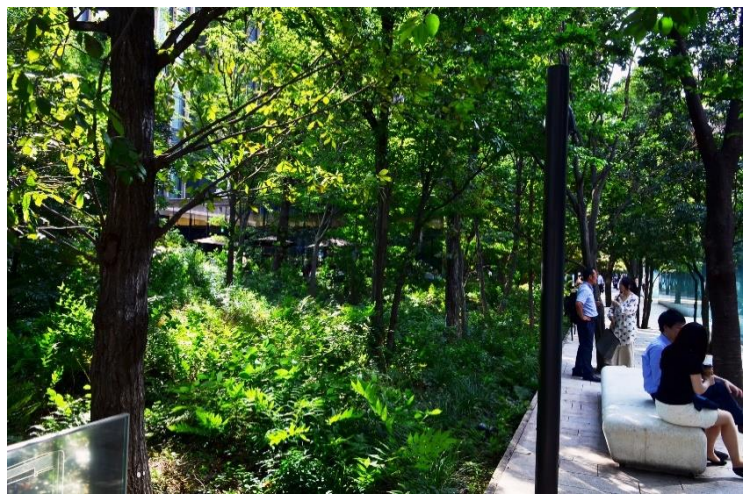
▼行幸通り



▼日比谷公園



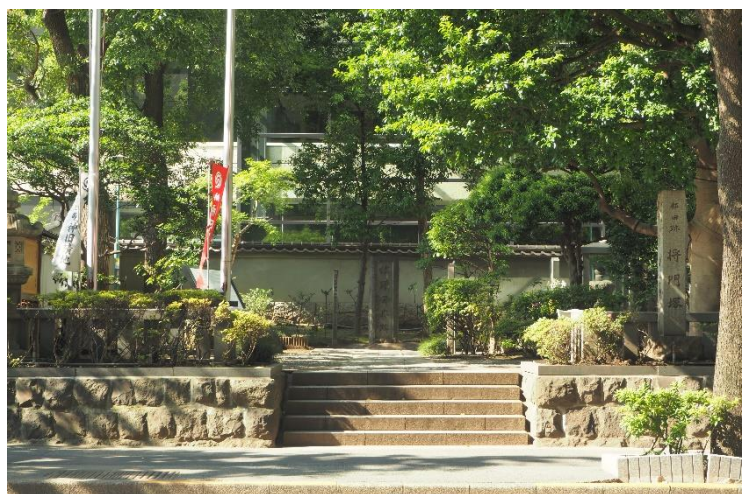
▼大手町の森



▼日枝神社



▼将門塚



▼法務省



▼国会議事堂

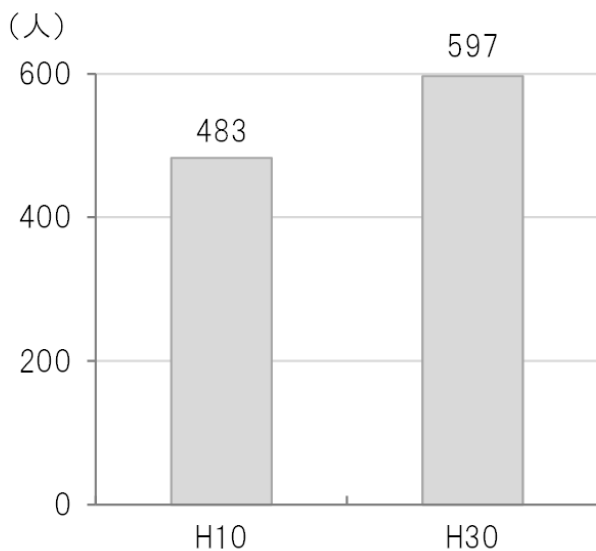




# 人口等の動向（1）

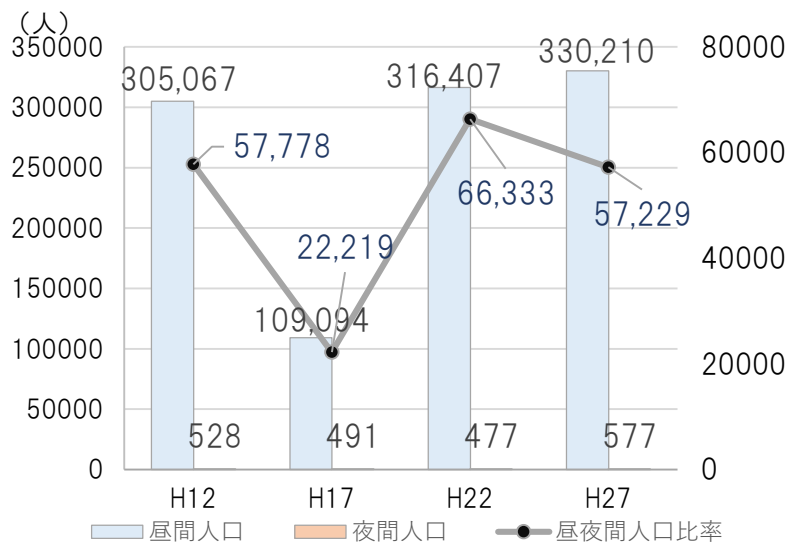
## 人口推移

(各年1月1日/住民基本台帳)



## 夜間人口・昼間人口・ 昼夜間人口比率

国勢調査

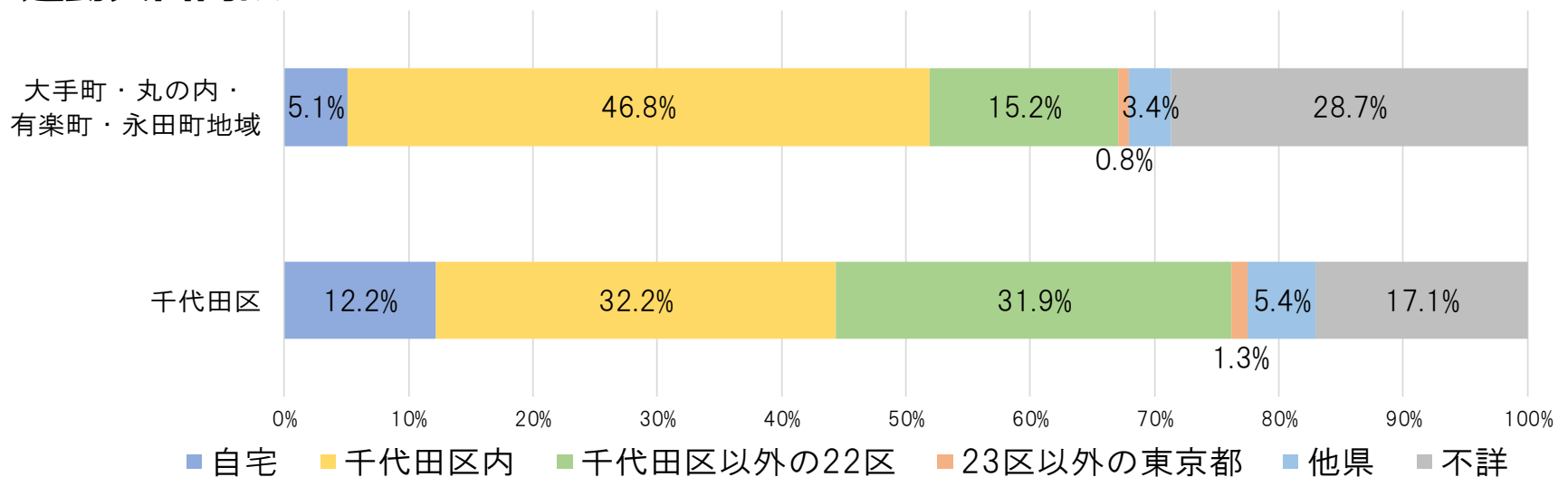


**POINT** 平成27年の国勢調査では、千代田区全体の昼夜間人口比率は約1,460%と全国有数の高さでしたが、大手町・丸の内・有楽町・永田町地域の昼夜間人口比率は約57,229%と群を抜いています。

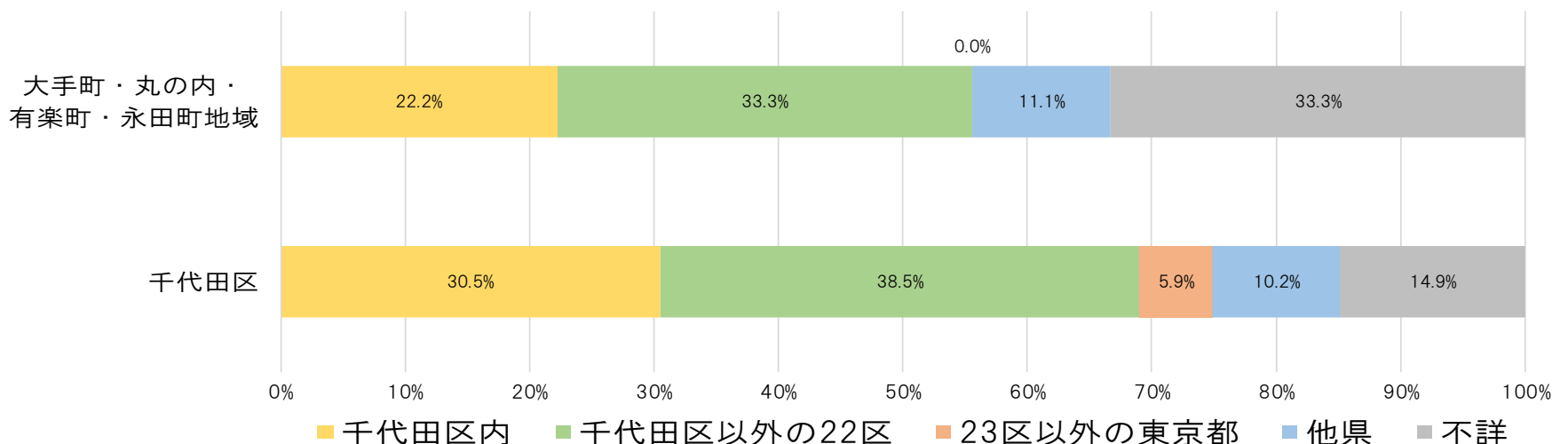
## 通勤人口・通学人口（平成27年）

経済センサス

### 通勤人口内訳



### 通学人口内訳

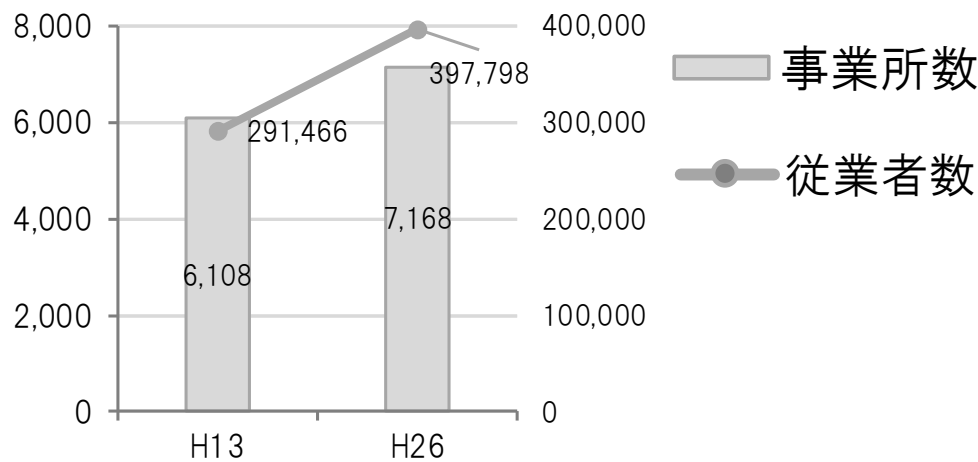


**POINT** 千代田区全域と比較して、区内に通勤する人の割合が大きくなっています。

# 人口等の動向（2）

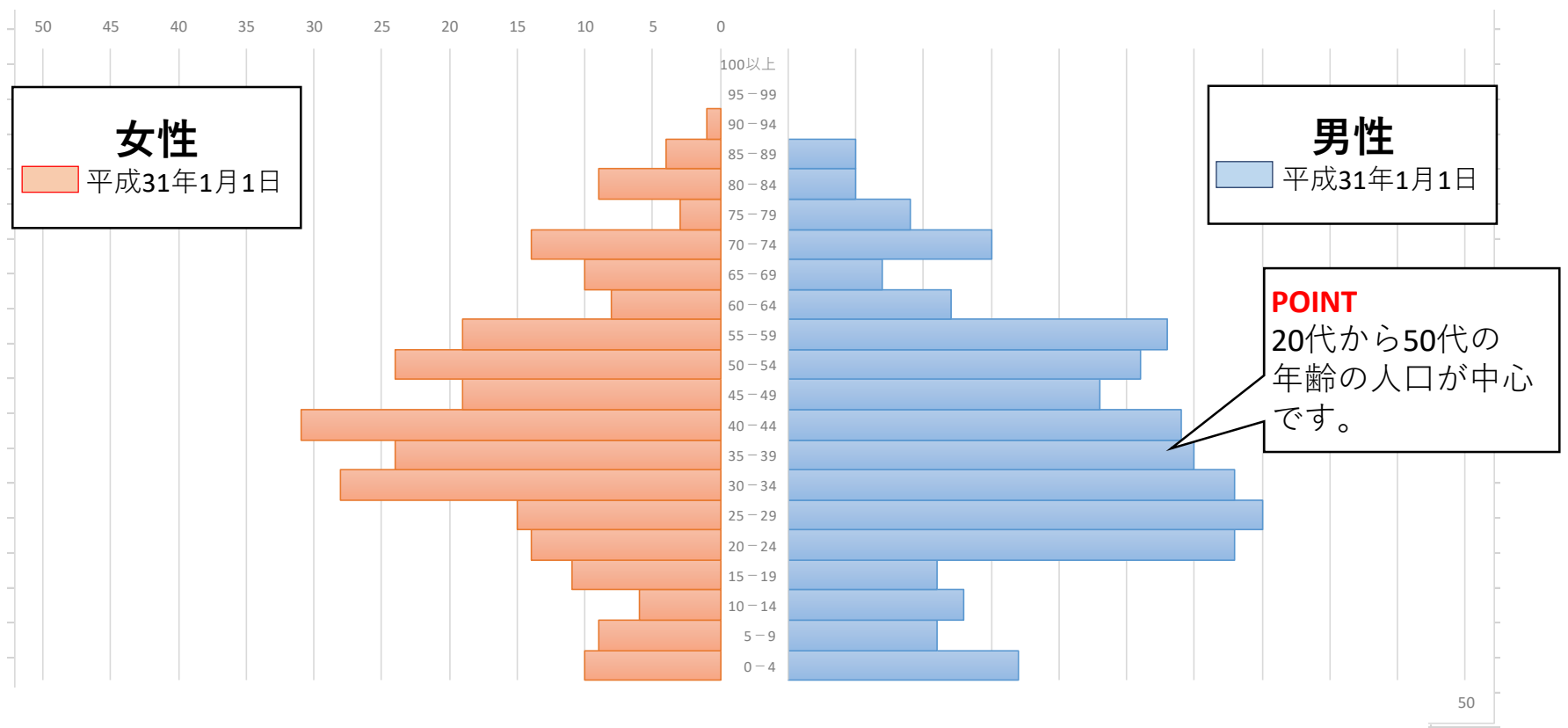
## 事業所数・従業員数の推移

経済センサス



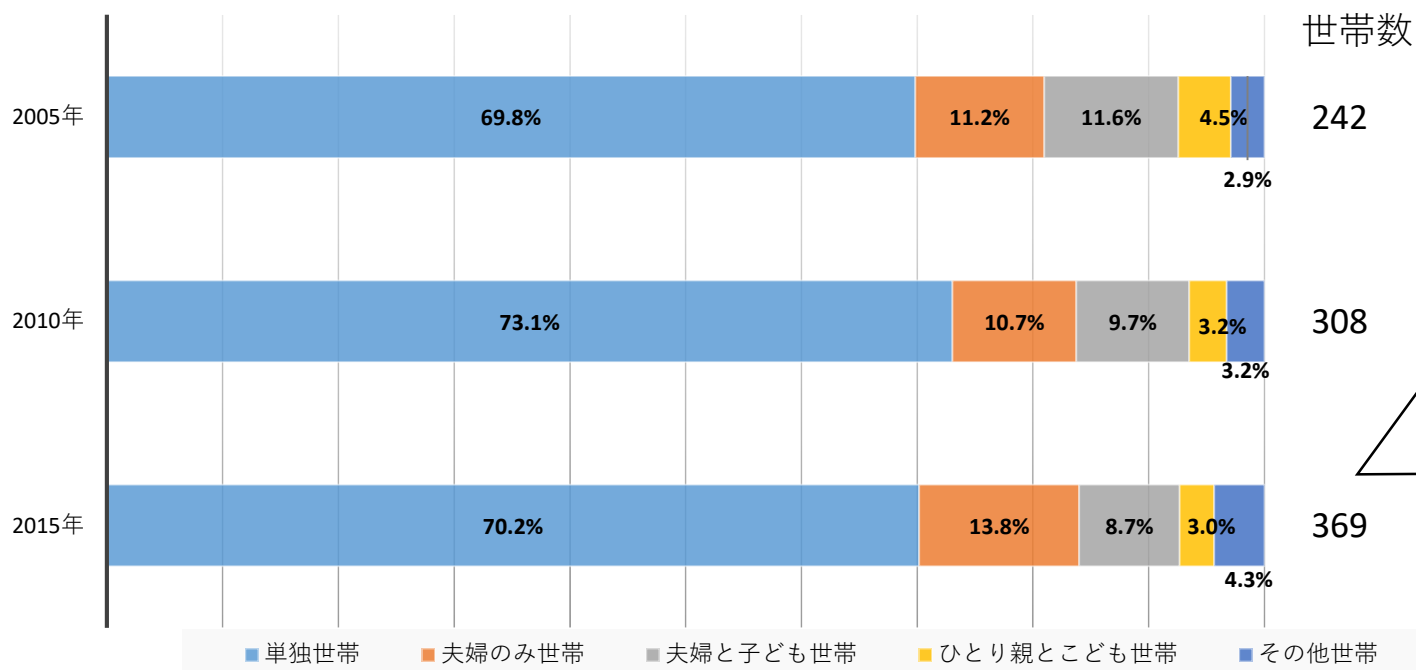
## 人口ピラミッド（単位：人）

住民基本台帳



## 家族類型別世帯数割合

住宅・土地統計調査

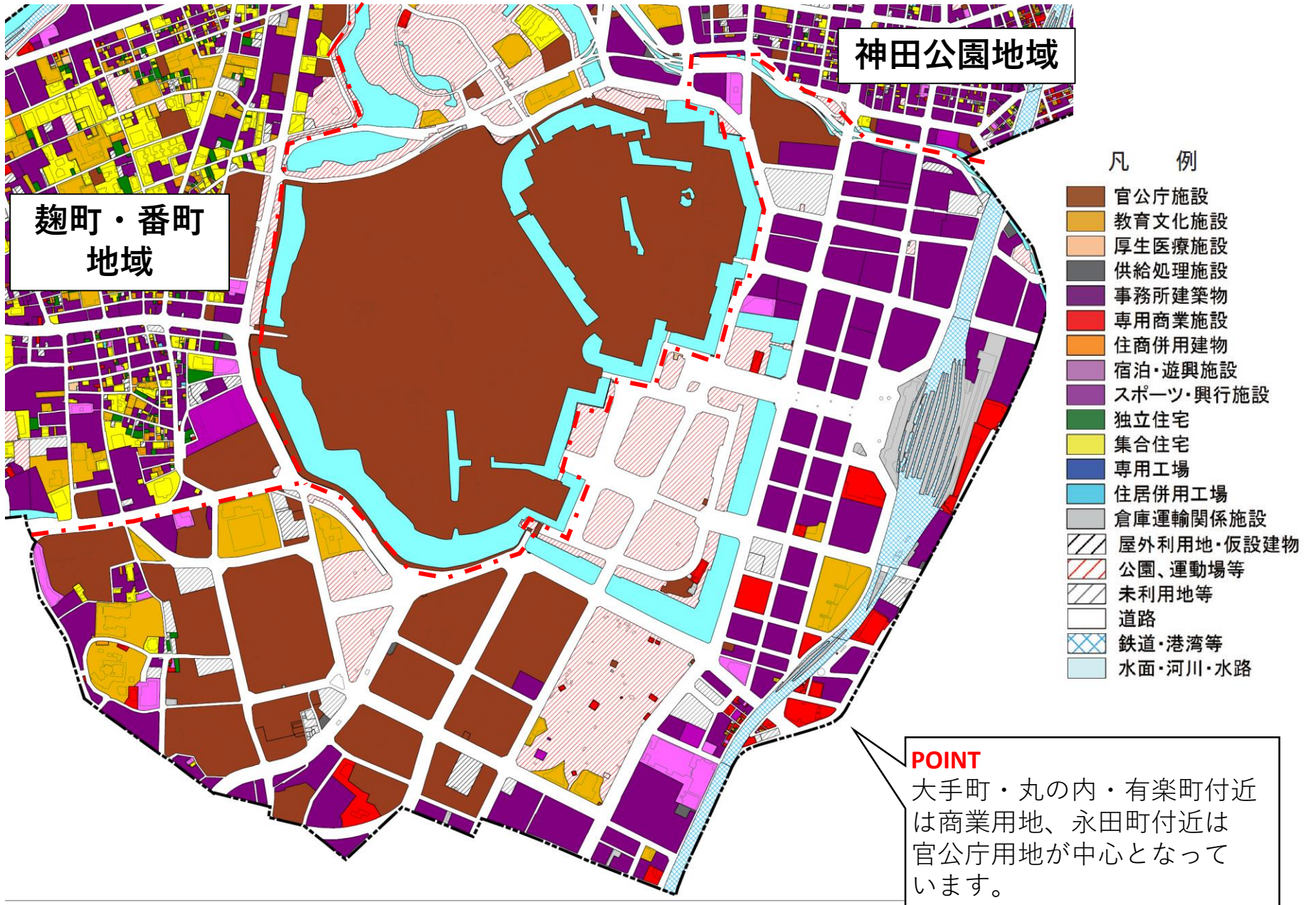


**POINT**  
夫婦のみ世帯の増加が顕著です。単独世帯についても割合としては変化がありませんが、世帯数は増加しています。

# 土地利用

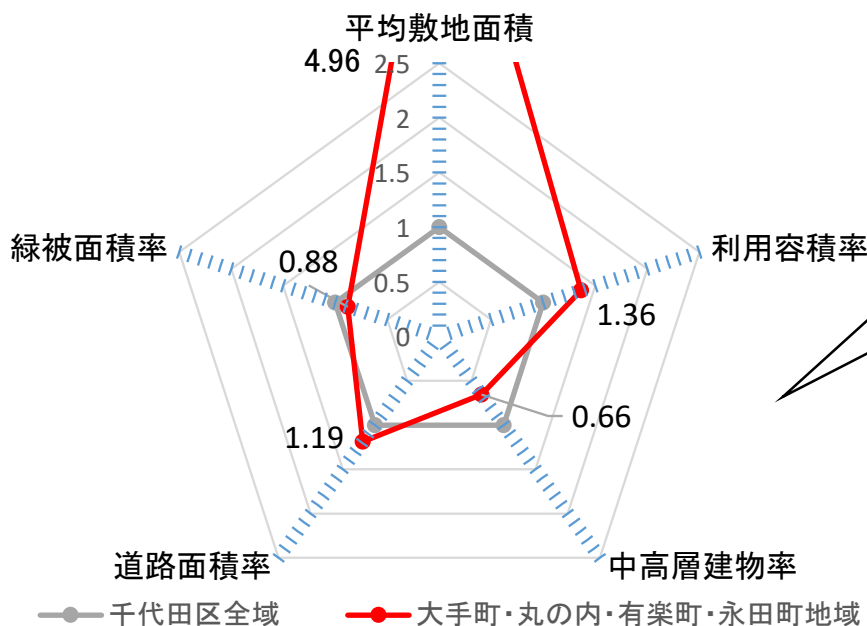
## 土地利用現況（平成28年）

千代田の土地利用2018



## 土地利用の特徴

（千代田の土地利用2018）



**POINT**

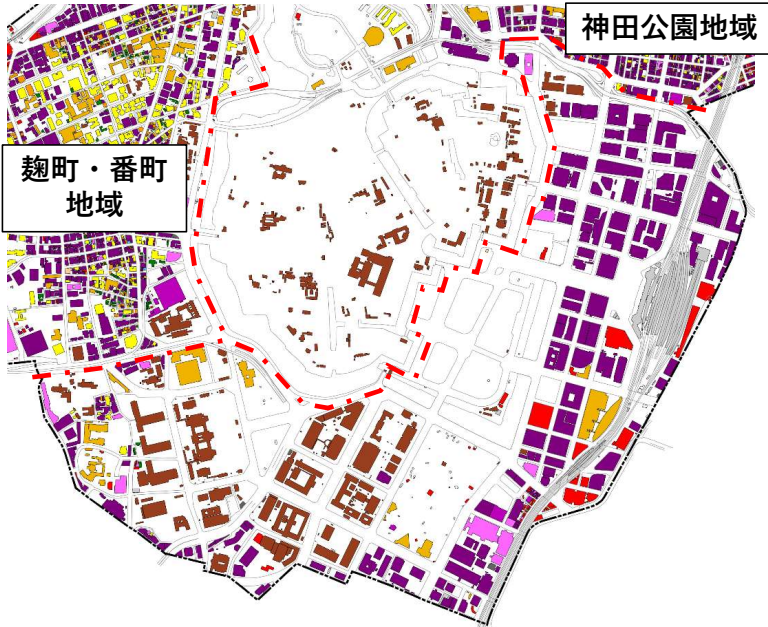
平均敷地面積が非常に広い一方で、大規模高層建築物の数に対し、低層建築物の数が多く、中高層建物率は低くなっています。



# 建物利用

## 建物利用現況（平成28年）

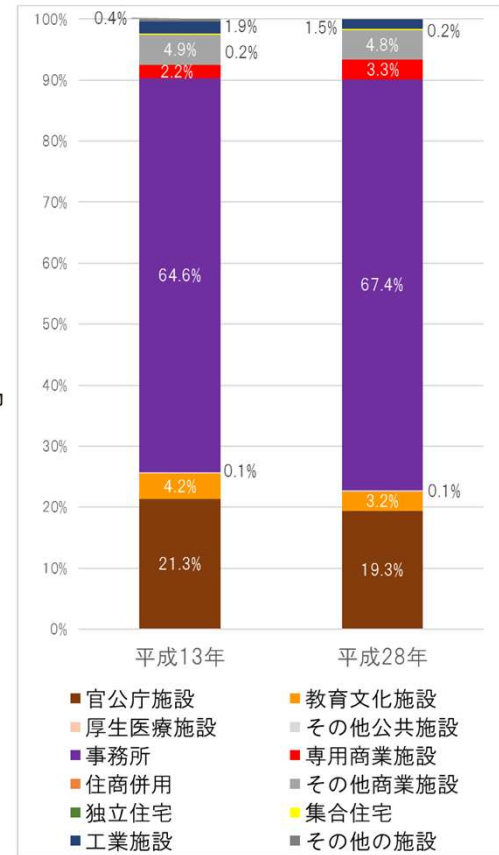
千代田の土地利用2018



- 凡例
- 官公庁施設
  - 教育文化施設
  - 厚生医療施設
  - 供給処理施設
  - 事務所建築物
  - 専用商業施設
  - 住商併用建物
  - 宿泊・遊興施設
  - スポーツ・興行施設
  - 独立住宅
  - 集合住宅
  - 専用工場
  - 住居併用工場
  - 倉庫運輸関係施設
  - 屋外利用地・仮設建物
  - 公園、運動場等
  - 未利用地等
  - 鉄道・港湾等

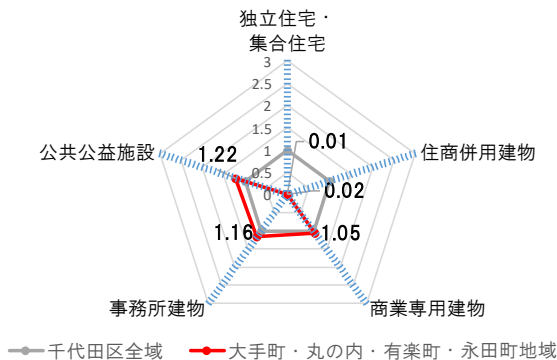
## 建物用途別延床面積

千代田の土地利用2018



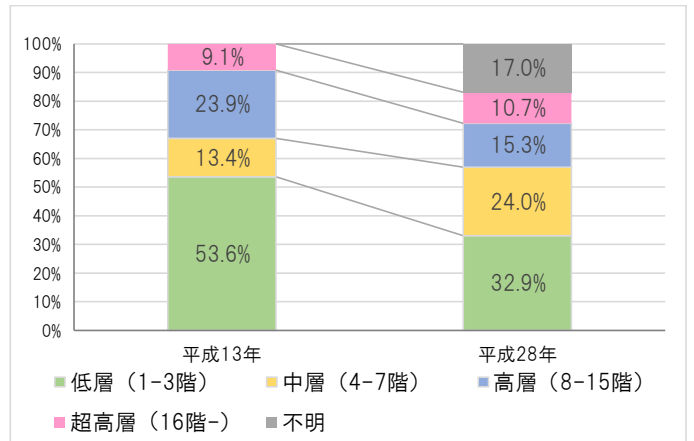
## 建物利用の特徴

千代田の土地利用2018



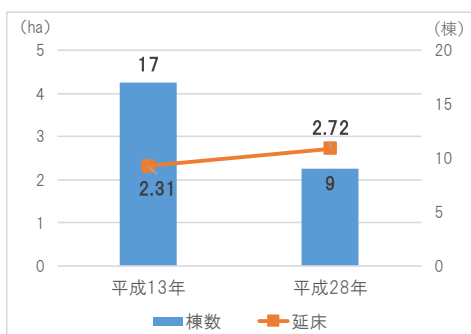
## 建物階数

千代田の土地利用2018



## 集合住宅

千代田の土地利用2018



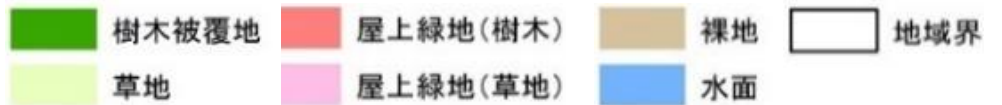
**POINT** 低層の建物が中層・高層の建物に建て替わっています。特に超高層の増加が顕著です。

# まちの緑

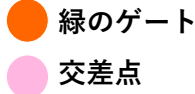
## 緑被分布図 平成30年度千代田区緑の実態調査



### 緑被区分等



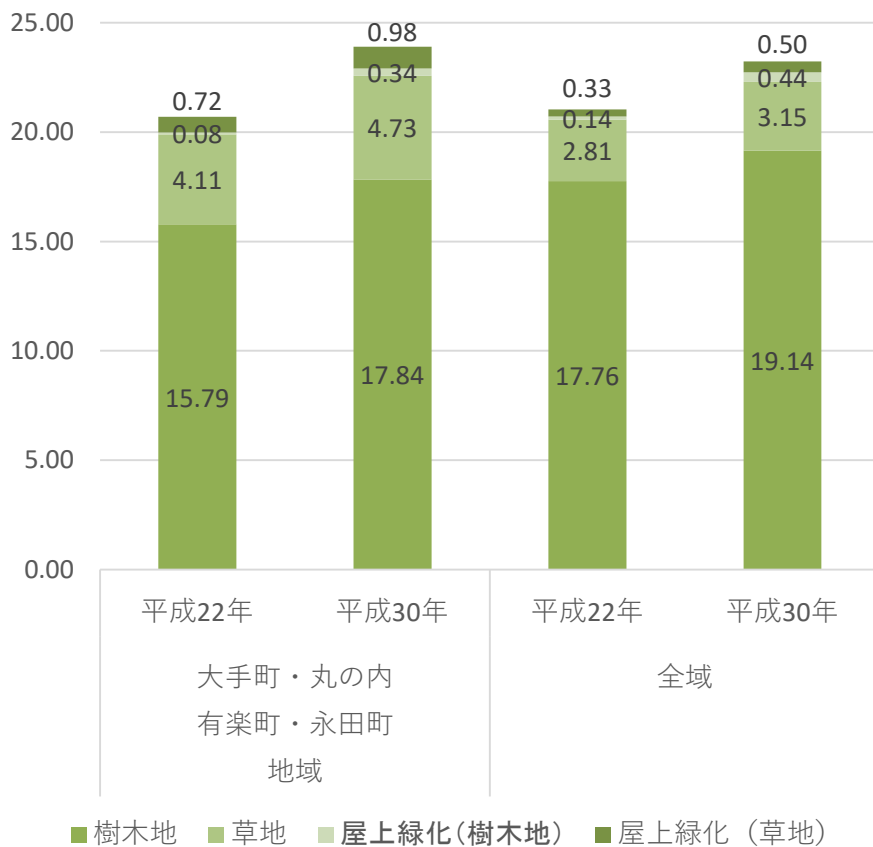
### 緑視率調査地点



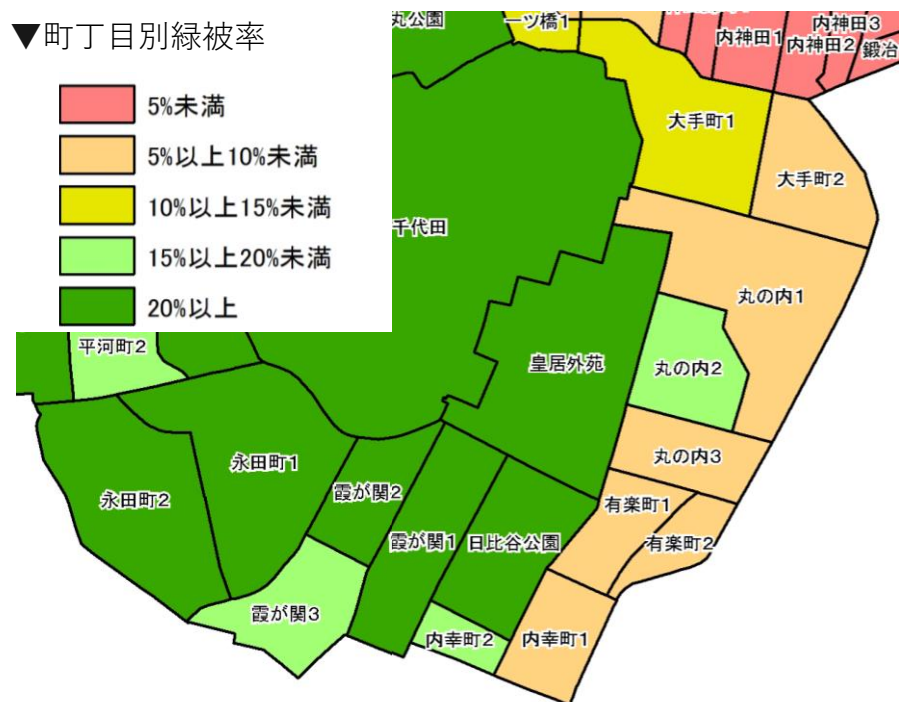
緑被分布図 平成30年度千代田区緑の実態調査  
緑視率調査地点 令和元年千代田区緑の基本計画改定業務業務報告書

**POINT** 皇居外苑や日比谷公園、日枝神社等の大規模な緑が目立ちます。

## 緑被率 令和元年千代田区緑の基本計画改定業務 業務報告書



### ▼町丁目別緑被率



**POINT** 大規模な緑以外の地域でも広幅員の道路や民間の公開空地などの緑化により比較的緑被率が高い状況となっています。

## 緑に関する地域の取組み 令和元年千代田区緑の基本計画改定業務 業務報告書

### ◆大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会

- 数多くの事業者によって組織され、当地区の付加価値を高めることを目的に活動。本地区らしい緑の継承・創出への方向性を示した「緑環境デザインマニュアル2013」を策定。

### ◆大丸有環境共生型まちづくり推進協会（エコツェリア協会）

- 産官学民とのパートナーシップを図り、エコに関するノウハウやコンテンツの蓄積と情報発信、イベントの開催など多様な活動を展開。



# テーマ別まちづくりから 地域別まちづくりへの展開

## これまでの将来像

### 風格ある環境共生空間に、 国際的に開かれた豊かな都市活動が育まれるまち

本地域は、世界都市東京の中心にふさわしく、歴史の積み重ねによる風格ある質の高い街並みを形成し、また、鳥や昆虫の棲む水と緑にあふれた環境共生空間を創出してきました。さらに、多様な人々に開かれ、質的転換の図られた高次な業務機能と国際的な商業・文化・交流・情報機能をあわせもつ複合的な都市機能を備え、災害に強く、豊かな都市活動や世界交流が営まれるまちを目指してきました。

| これからのテーマ  | 取組内容  |
|---|---|
| 1 豊かな都心生活と住環境を守り、育てるまちづくり<br>(現計画の住宅・住環境整備分野)     | <ul style="list-style-type: none"><li>生産性が高まるオフィス環境（バイオフィリックデザイン）</li><li>ひととまちが様々なきかけ・スタイルで関わり合う都心</li></ul>   |
| 2 緑と水辺がつながり良質な空間をつくり、活かすまちづくり<br>(現計画の緑と水辺の整備分野)  | <ul style="list-style-type: none"><li>皇居外苑・内濠・日比谷公園等との一体性・連続性の高い空間や都心の眺望を楽しめる空間を創出</li><li>都市再生を通じて創出された機能やストックされた空間の多様性と“場の力”を活かし、ネットワーク化を推進</li></ul>             |
| 3 都心の風格と景観、界隈の魅力を継承・創出するまちづくり<br>(現計画の景観づくり分野)    | <ul style="list-style-type: none"><li>首都東京の都心としての歴史の積み重ねが作る風格を活かし、新しい都心デザインのなかで継承</li><li>文化・芸術機能の強化（MICE等）</li></ul>   |
| 4 道路・交通体系と快適な移動がつながるまちづくり<br>(現計画の道路・交通体系整備分野)    | <ul style="list-style-type: none"><li>空港アクセスなど、都心への広域的なゲートとしての機能・利便性の向上</li><li>シェアリングエコノミーの進展や自動運転技術の進歩に伴う次世代の移動環境</li></ul>                                       |
| 5 多様性を活かすユニバーサルなまちづくり<br>(現計画の福祉のまちづくり分野)         | <ul style="list-style-type: none"><li>ユニバーサルデザインの都市環境整備からヒューマンセンタードデザイン、ダイバーシティへの進化</li></ul>   |
| 6 災害にしなやかに対応し、回復力の高い強靱なまちづくり<br>(現計画の防災まちづくり分野)   | <ul style="list-style-type: none"><li>大規模災害の発生を想定し、政治・行政・司法の国家中枢機能とともに、高度で国際的なビジネス交流の拠点としての機能の継続性や滞在者等の安全を確保</li><li>迅速で的確な災害対応とその事前準備</li></ul>                    |
| 7 高水準の環境・エネルギー対策を進めるまちづくり<br>(現計画の環境と調和したまちづくり分野) | <ul style="list-style-type: none"><li>地下空間、地上レベル、建物上部の空間などをつなげ、より居心地良く、過ごしやすい空間の活用</li><li>ICTと充実した都市基盤、移動環境、自律性の高いエネルギー基盤の確立</li><li>ESG投資の動向を取り入れた都市づくり</li></ul> |